

# 事務事業マネジメントシート(令和2年度実績と令和3年度計画)

令和3年12月14日更新

事務事業名		P T A連絡協議会活動支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	2 4 17	福祉の健康 子育て支援の充実 地域における子育て支援	所属部 所属課 所属班	教育委員会事務局 学校教育課 学務指導班	課長名 担当者名 (内線)	栗木 清智 高木 宏亮 5316		
予算科目	会計 一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 11601他 根拠 法令	合志市P T A連絡協議会補助金交付要綱			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(開始年度 ( ~ 18 年度) 年度)			

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内小中学校P T Aの連絡協議会への補助金の交付。市内小中学校のP T A連絡協議会の支援を目的に始まった。子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増しており、子育ての問題がより重要視されていく中、今後も家庭、学校、地域の連携した取組みが求められている。
【業務の流れ】	P T A連絡協議会長から補助金交付申請書を受理する。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行してP T A連絡協議会長から請求書を受け、補助金を交付する。年度事業終了後は、事業実績報告書を提出していただく。
【主な予算費目】	負担金補助金及び交付金
【意見や要望】	地域における子育てを、保護者たちが主体的に推進することを求める意見がある。

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	新規・拡充区分 3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市P T A連絡協議会(小学校7・中学校3)に対して、補助金を交付する計画であった。 【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルスの影響によりP T A連絡協議会の活動が実施されなかったため。	合志市P T A連絡協議会(小学校8・中学校4)に対して、補助金を交付する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア:補助金の額 イ:	予算の主な増減の理由 (単位)円
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市P T A連絡協議会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:P T A連絡協議会の会員数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市P T A連絡協議会の活動を活発に行ってもらう。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:P T A連絡協議会の活動に参加した会員数 イ:
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠 団体活動促進のために参加した人数を設定した。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア イ	円		357,000	357,000	357,000	0	357,000			
② 対象指標	ア イ	人		5,701	5,463	5,800	5,869	5,900			
③ 成果指標	ア イ	人		995	995	1,000	0	1,000			
投 入 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	357	357	357	0	340			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0			
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間 (B)人件費計	人 時間 千円		1 10 39	1 100 3	1 398	1 3	1 398			
	トータルコスト(A)+(B)	千円		396	360	755	3	738			

合志市

事務事業名	P T A連絡協議会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	学校教育課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (C H E C K)

\*原則は 2年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 新型コロナウイルスの影響により事業が中止となった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 新型コロナウイルスによる影響がなければ、継続実施事業であり、目標達成は可能である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 P T A活動への要請は、各方面から多岐にわたっており、現在も各方面で活動している。現状では P T A活動は限度にあると思われる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 団体の運営について積極的な関与はできない。また類似の事業もないため他の手段はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 市の厳しい財政状況により、市全体で団体補助金は削減されたため、運営に支障を来たさないためには削減は困難である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 助成金の交付や、事業実績の確認など必要最小限の事務であるため削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 P T A連絡協議会の活動は活発であり、受益に耐えると思われる所以公正さは保たれている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 団体が企画立案し、事業を適正に実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

新型コロナウイルスの影響により事業が中止となった。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善  
事業のやり方改善（効率性改善）事業のやり方改善（公平性改善  
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

現状維持

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	向 上	コ 料		
		削 減	維 持	増 加
成 果	向 上			
維 持		○		
低 下			△	△

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策